

□9月1日説教(短縮版)隅野徹牧師
「清められた人」(ルカによる福音書11:37~44)

造り主である神の子イエスが、汚い内側をどうすればきれい
にできるかを教えられたのが41節です。この節が今日の中心
的な聖書のことばです。ここで教えられているのは、私達は罪
に満ちており、体の内側つまり心は汚いけれど、その心を施す
こと、人に与えることで内側は清められるのだということです。分
かりやすく言うと、今日の箇所テーマである「隣人とともに生き
ることの大切さ」がここで教えられているのです。特に私に示さ
れているのは、弱い立場の人々や苦しみを抱える人々と共に
生きることで、その人自身の内側が、イエス・キリストに似た者と
変えられていくのだということです。

今回の箇所では、自分は一般の群衆より清く優れていると思
い込み、人を見下して高慢の罪を重ねるファリサイ派の人々に
対して、人を分け隔てせず、多くの人と共に生き、罪人をも正し
い道に立ち帰らせようとなさった愛の主イエス・キリストが対比し
て描かれています。ファリサイ派の人と同じような心の汚さは私
たちにもあることは認めざるを得ません。どうすれば清くなれる
のか…そう悩むことも多いのが私たちではないでしょうか。一方
で「こんなに汚い私が、他の人と共に生きるなどんでもない」と
か、「私の汚い心など誰かに与えるなんてできない、そんな余
裕はない」と考えるのが普通だと思います。

しかし自分の罪深さを認めた上で、「神様、こんなに汚ない私
ですが、周りの人々に愛を届ける器として用いて下さい」と祈
り、自分を神の前に差し出したとき、毎日の生活が全く変わらま
す。それは私の実体験として感じていることです。

この地上にいる間、私たちが完全に清められることはか
ないません。しかしそんな私たちの心を人に与え、多くの人と共に
生きよと、主イエスはお勧めになっているのです。与え、共に生
きる行為を神は用いてくださり、神ご自身が私達の汚い心を清
めてくださるのです。(終)